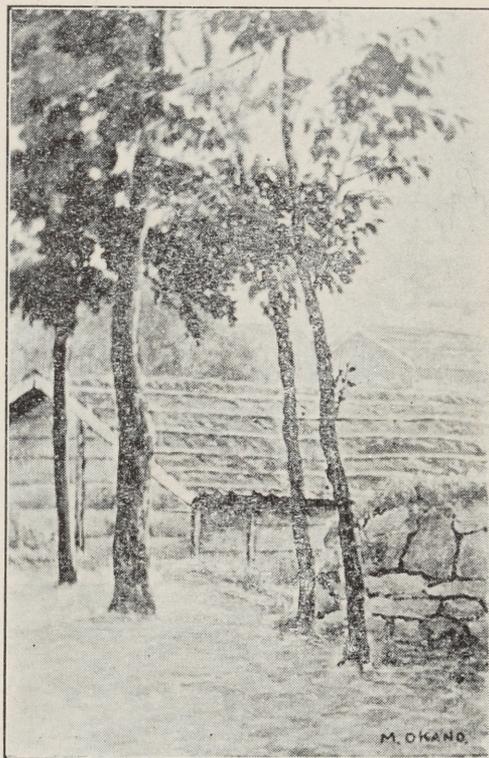


■日本畫をやつた人は筆を二本持つて描く、先生曰く『宮本武藏のやうですれ、戸外で寫生する時却て不便ですから一本で描きなさい』と、成程それもそうか■同じく筆を吸ふ人が多い『そんなに繪具は旨いのですか、色によつて味が遠ひますか』と先生は例の皮肉の評をあげせかける、おかげで仕舞には筆洗の水を呑むものがなくなつた■常盤會では畫面を乾かすに扇子を開いて扇ぐといふ、女持の事であるから金銀紅紫、あちらでもこちらでも蝶の舞ふやうで美しいとの話、こつちではJS君、が白扇で時々やつてゐた■何といふても一日一日物の形が正しくとれてゆくから嬉しい■僕はやつと墜といふ事が判つて來た■ア、愉快で／＼耐らない！■SS君の話は素敵に面白い■日本畫を稽古したが、一方に酒があり、一方に酒のない徳利を二本描いて來いと先生から曰はれた、初學者にはドーしてよいか判らない、無理な話だ、西洋畫は順序が立つてよく判るし、そして面白い』と■又曰く『先日先生のお話に、煙草の煙りは繪の保存の上には害があると言はれ、それに先生お二人共煙草を喫まれぬ、私も水彩畫を始めた紀念として斷然煙草を廢



正會員 小野三男 第四筆

めました』と■住吉寫生の時SS君は一生懸命に船の輪廓をつつて、將に色をつけんとする時、其船はスーと何處かへ往つて仕舞つた、そんな約束ではなかつたにと頗る残念がつたが何とする事も出來なかつた■オイ誰だいな人の茶碗をとつて行くのは、君のは前にあるぢやないか。

贅録 (夏期講習會録設)

■大阪の人力車ほど不快なものはない、コツン／＼下から突上げて車の上で踊りをやらされる、ゴマ／＼すると往來へ抛り出されそうだ■道路が狭いので發條が強くないと曲り角で轉覆するからだとき■已に會員の中で石道の上へ投げ出されて怪俄をした人もある■車上の人が母衣の骨を兩手で握つてゐるのはよく見る

■圖だか落されまいとの用心かも知れぬ■それでも大阪の車夫は東京のよりは早い■僕は菅笠を冠つてゐた車夫を見た■僕は裏草履を穿いてゐる車夫を見た■この暑苦しいのに車の上に綿澤山の座布團を敷かれるのは閉口だ(つゞく)

煙草を喫まれぬ、私も水彩畫を始めた紀念として斷然煙草を廢

\* \* \* \* \*